

同志社大学

2013年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014年 3月 11日提出

所 属	職 名	氏 名
心理学部	准教授	竹原 卓真
研 究 題 目	感情に関する言語ネットワークおよび記憶ネットワークのトポロジー解明に関する研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>プロトタイプとなる基本感情を手がかりとして、そこから連想される名詞を書かせる実験を行った。その結果、回答における頻度分布が従来の正規分布にはならず、かわりに傾きが1のジップの法則に従うことが認められた。また、そこから名詞の共起性を元にして生成した1モードネットワークがスモールワールド性とスケールフリー性の双方の性質を持ち合わせており、我々の連想における名詞間のつながり方が一様やランダムではなく、非常に偏ったものであることが判明した。この実験結果をイギリスの専門誌、Cognition & Emotion 誌に投稿し、2014年3月現在、1度目の revision が審査中である。</p> <p>また、この研究に加えて、本年度では連想で得られた名詞の単語を一対比較させる実験も行うことができた。これは記憶ネットワークのトポロジー解明への重要な布石となる研究で、単語間の類似性を評価させてネットワークとして図示し、そのネットワーク統計量を明らかにすることが目的であった。先日データをすべて取り終え、次年度の在外研究中に解析し、論文化して海外の専門誌に投稿する予定を立てている。</p>	